

立命館経済学

第三卷  
総目次

(昭和二十九年度)

## 立命館経済学 第三卷総目次（昭和二十九年年度）

## 論 説

マルクスに對立する貨幣理論批判……………武藤守一……一（一）……三五（三五）

ソ同盟における富農対策……………阿部矢二……三六（三六）……四七（四七）

マルクス経済学の成立過程にかんする一考察……………松田弘三……四八（四八）……八八（八八）

——剰余価値論の生成を中心として——

諸商品集成の感性的直観（その三）……………梯明秀……九（三）……二六（二六）

ツアイス工場……………木村喜一郎……一（三）……一六（一六）

いわゆる縁故募集「採用」の一典型……………大山敷太郎……二（三九）……一六（三四）

——郵政省「現業職員の実態に関する調査に基く分析——

日本信用体系における国家的銀行資本の地位と役割……………武藤守一……一七（三五）……五三（二八）

——その一、従属化、軍事化の資金的中枢としての日本開發銀行——

証券上場規定と第二市場……………住ノ江佐一郎……四（二）……七三（二〇）

わが国鉱業労働における封建性と親方制度……………大山敷太郎……一（二七）……四四（四四）

カメラリスムスに於ける財政思想……………箕浦格良……四（四五）……六三（四三）

グラハム・ドッドにおける有価証券の分類について……………住ノ江佐一郎……四（四四）……七七（四七）

マルクス主義による人間改造の問題……………阿部矢二……四（四八）……一〇（四七）

賃労働者の向自有的論理構造……………梯明秀……一（四三）……三〇（五三）

減価償却と客観性の要請

津ノ国長四郎 五三(五三) 五〇(四二)

アダム・スミスの財政論

箕浦格良 五三(四三) 八(五七)

四四年手稿断片「疎外された労働」におけるマルクスの哲学思想(上)

梯明秀 六六(一六三) 三九(六五)

唯物論についての覚書(其の一)

阿部矢二 六六(三〇) 四九(六七)

日本輸出入銀行

武藤守一 六六(五〇) 七三(六九)

——從属化、軍事化の貿易金融中枢としての——

熊野灘沿岸漁村における「本役(本家株)・半役(分家株)」制と

漁業共同経営

大山敷太郎 七三(六六) 五三(七〇)

住民税論

藤谷謙二 七三(五六) 一七(七五)

世界労連の結成と分裂

平田隆夫 七三(五五) 三三(七七)

新企業担保制度に関する若干問題

井上巖次郎 七三(四八) 六(七九)

日本長期信用銀行

武藤守一 七三(七九) 一三(八八)

——日本経済從属化軍事化の設備金融中枢として——

フォード五〇年

木村喜一郎 七三(八八) 一五(八二)

発生主義の会計における実現主義の題題

津ノ国長四郎 七三(八三) 一五(四七)

四四年手稿断片「疎外された労働」におけるマルクスの哲学思想(中)

梯明秀 七三(四八) 一三(八九)

## 研究

原価管理における原価計算課の機能

寺島平 二二(四四) 四(一七)

シムペーター経済学の方法論的一考察

浜崎正規 二二(四一七) 七(一〇一)

近世在郷商人の農地経営	足立政男	三・四(三三)……二〇(四八)
税務監査の目標について	高尾忠男	三・三(二四九)……二四(三六)
貨幣資本と造出とその限界	小牧聖徳	五・五(五五)……九(五八)
近世都市近郊における農民生活	足立政男	六・六(六六)……九(七〇)
「標準原価計算」に関する若干の考察	寺島平六	九(七一)……一三(七五)
景気変動理論についての一試論	浜崎正規	六・一(四六)……一四(九七)

資料

アンリ・ドウニ『マルクスと資本主義経済における現在の発展』	小牧聖徳	二・七(一〇三)……九(三二)
工業史の一断片	淡川康一	五・五(五四)……一三(六四)
原価管理における原価計算の役割	寺島平六	二・五(二六〇)……一〇(六三)

紹介

ソヴェトにおける統計学方法論争	関彌三郎	一・一(一七)……二二(二八)
C・ワーバートン「シユムペーター学説における貨幣および景気変動」	浜崎正規	四・一(三三)……二八(四八)
庄司吉之助著「明治維新の経済構造」	足立政男	二・二(三三)……九(三三)

書評